



緊急事態宣言が解除となりました。長くて暗いトンネルも少し明るい見通しが見える出口に近づいてきたのでしょうか。私たちには何が変わったかといわれれば、特に行動の変化はありません。言えることは感染症に対しての恐怖心から対応の仕方が少し見えてきたことでしょうか。ワクチン接種が進んだことが一番安心できることですが、保育園での生活様式は何も変えていません。どちらかというと規制が緩和され、人々が一気に行動開始されたことで様々な不安が大きくなりました。

子どもに関わりのない世界の方々にとっては、緊急事態宣言の解除は朗報で肩の力が抜けてきたと思いますがワクチン接種もしていない子どもたち、気持ちが緩んでしまった大人の中にいる子どもたちの安全をどこまで守れるのか…を考えるとよりいっそう慎重に行動を行い今まで通りの消毒・換気・マスク着用を徹底し、子どもたちが危険に脅かされないような環境を守っていけるよう対応していきたいと思います。

この2年近く行ってきた感染症対策は今後も継続していきます。

- 1) 職員の勤務での対応は、行動記録を取る・毎朝・昼に検温し、昼には必ずマスクの交換をしています。また、室内への入室の際の消毒、使用した事務機器・その他の道具は必ず消毒する。残念ながらお子様と同じテーブルでの食事はせず、一人ずつ離れて食事をとっています。
- 2) 室内は窓を開け（寒い時期も）空気清浄機・扇風機による空気の入替え・二酸化炭素感知器設置をして換気に留意しています。
乳児クラスは午前中に使用した玩具はすべて消毒し、午後には使用しないようにしています。
お昼寝は頭を交互にし、一人一人のコットの間隔をあけています。（コットは消毒を行います）
室内で過ごす場合は幼児クラスはマスク着用の協力をお願いしています。
- 3) 来客には手洗い・消毒・検温・対応は玄関先で行っています。

以上のことを継続していきながらですが、下記のように保護者の方々に対する対応を少し緩和したいと考えています。今年度始まって園の様子を全く見て頂けていない状況ですので、全国的に発症者が減ってきましたこの時期に、園内に入っていただくことを考えています。

詳しくは 11月号のお知らせに手順を明記しています。ご確認ください。

まずは登降園時、館内入退室の際、必ず消毒の協力をお願いし二コニコ広場までですが、保護者の方々に入室いただき、職員とのやり取りを考えています。但し、長時間になりますと大勢が館内に入ることとなりますので、速やかな対応をお願いしたいです。このまま状況が落ち着きましたら徐々に通常対応に戻していきたいと考えます。11月8日（月）2週目から開始いたします。

記念の集いのお誘い

11月3日（水）3部に分かれて10年の記念の集いを予定しています。

在園児の方は午前の部で行います、是非ご参加ください。（9:45受付～11:30終了）

珍しい中国獅子舞隊によるお祝いの舞もあります。また、この機会を利用して室内にも入っていただきロッカーの点検やお子様の作品もご覧いただけます。

職員みんなで作成した「記念誌」や「いろいろ記念品」もご用意しています。

どうぞいらしてください。お待ちしております。

さわやかな秋を感じることも束の間、秋から冬がそこまで来ています。

先月、乳児クラスでは春から夏に流行する「ヘルパンギーナ」や「手足口病」を発症されるお子さまが多く、中にはどちらも同時に発症した珍しいケースも多くあり大変心配しました。これだけ流行ると感染症対策として丁寧に消毒や換気を行なっても感染症の威力には敵いません。今年は去年はやらなかったインフルエンザの流行も心配されています。再度気を引き締めて感染症対策を万全に行っていきます。保護者の方々もどうぞ対策にご協力ください。

さて、先月のかえでゆうびんで園長の紙面の中で「藤森醤油」と書かれていたことを少し紹介させていただきます。今までのように子どもたち中心のクッキング保育もなかなかできず、どうにかして体験させてあげたいと考え、夏ごろから子どもたちの目の前で「ちょこっとクッキング」を行ってきました。食べにくいゴーヤーやピーマンを醤油やごま油で味付けをしていくうちに子どもたちから「ふじもりじょうゆは魔法の味!」と流行りだし、私がクッキングを始めると「今日も藤森醤油使うの?」と子どもたちは声をかけてくれます。

先月は子どもたちが園長先生にリクエストして買ってきてもらったレンコンを調理しました。「ちょっと苦手だからいらない」と言った子どももみんなが食べていたり、醤油の香ばしい匂いがしたりすると必ず「小さいのちょうだい」と言ったりする子も。そして何もなかったかのようにおかわりに並んでくれています。「藤森醤油」はこれからもかえで保育園の秘伝の調味料として、子どもたちのお腹をときどき満たしていきたいと思います。

～藤森醤油レシピ～

醤油・砂糖・みりん・酒・酢または水

*全て同じ分量で混ぜ合わせ、煮立たせます。焼いた野菜に藤森醤油をくぐらせるだけで出来上がり。いつも目分量なので砂糖はやや多めかな? 夏は酢を使うとさっぱりとおいしくいただけます。

主幹保育教諭 藤森 寿美

ここ最近、“ゴーヤ隊”なるものが生まれました。夏に収穫したゴーヤを美味しく味付けしてもらったことがきっかけで、「この種を植えてみよう」と、ゴーヤの栽培が始まったのです。

ゴーヤのおうちをつくろうと、園内を探し回り見つけたのは、去年のだいちさんが使っていた”うさぎさんの小屋”でした。おうちを広げる方法や、保育園にビニールハウスを作る方法…様々な壁にぶつかる度に、友だちと知恵を出し合い、より良い方法を見つけています。ある日のこと、すすくと育つ芽の中で、一つだけ元気のない芽に気が付きました。たっぷりと水をあげてみますが、どんどんとしおれていくゴーヤの芽…「このこはもうお水飲めないのかも」と考え、これからどうするかという話になりました。ゴーヤ隊から出てきたのは、「土の中に埋めてあげる?」でした。

先月かえるのもりしやあまりくんとお別れしただいちさんの様子を傍で見ていたこと、飼育しているめだかと重なったのかもしれませんが。生き物がなくなった時に土に埋めることが正しいことなのか、それは分かりません。ただ、植物の命を、生き物と同じように捉えているようでした。それから、「今日もしようよ! ゴーヤ」と、お世話する時間を楽しみにしています。

「どうやって食べようか」「ふじもりじょうゆのゴーヤまつり～」「ゴーヤのかき氷がいいんじゃない」「えーそんなのおいしくないでしょ」2階テラスでゴーヤ話に花を咲かせながら、夢を膨らませているゴーヤ隊です。ゴーヤに限らず、それぞれの楽しみが日々の中に散りばめられればと思い、こっそり子どもたちの世界におじゃましています。明日が待ち遠しくなるようなちいさな“ときめき”を見つけるお手伝いが出来れば嬉しいです。

副主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「秋の自然に触れて遊ぶ」「たくさん身体を動かすことを楽しむ」

うた：「どんぐりころころ」「いとまき」「げんこつやまのたぬきさん」「オスワリヤス」「せんべ せんべ」

日中も風が涼しくなり外遊びや散歩も気持ちの良い季節がやってきました。水遊びより自分で歩いて園庭を探索しながら自分で歩いて好きな場所へ行き、触れることを楽しんでいます。最近ではお兄さんお姉さんやお友だちの遊びに興味をもって、後ろをついていったり、真似したりと遊びの幅もどんどん増えています。周りへの興味から、これから子ども達にとってどんな新しい不思議と発見があるのか楽しみにしながら過ごしていきたいです。

“もっと歩きたい！動きたい！”

先月に続き、園周りや交通公園の散歩へ行く機会が増え、園庭でも自ら歩いて好きな場所や物に触れることを楽しんでいます。日中はお兄さんお姉さんと一緒に園庭で過ごすことも増え、鉄棒での前回りや逆上がりに挑戦する姿や築山や階段を上り下りする姿をじっと見ています。後ろについて行き、腕を伸ばして鉄棒を握ろうとし、階段をはいはいで上る子もいれば、手すりをもって自分で上まで行く子もいます。一番上までいくと“登れたよ”というように振りかえって嬉しそうな表情を見せてくれます。その先にある滑り台にも興味があるようですが、まだ少し怖いのかお兄さんお姉さんが滑る様子をじっと見つめながら自分で滑りたい気持ちと葛藤している様にも見えてとても可愛いです。滑ってみる？と一緒に滑ると指をさして“もう1回”と階段をわくわくしながら登っていました。滑り台を自分で滑る日も近そうです。



“ともだち”

最近はお友だちがしていることや、お友だちに興味が出てきて“これはだれ？”とお友だちを指さして保育者に教えてほしいと伝えにきてくれます。保育園にも十分に慣れ、少しずつ自分の意思を伝えてくれるようになってきました。指をさしながら“あっちに行きたい”後ろを振り返って両手を振って“おいで”首を横に振って“もっとしたい”と身振り手振りで教えてくれることも増えました。子ども達もお互いの顔を見て笑いあって、近くで遊ぶ様子を見ることを楽しんでいます。そんな子どもたちの思いを大切に、言葉になる前の心でのやり取りを楽しんでいきたいと思います。これまでは保育者が援助していたことも少しずつ自分自身でやってみたいに変わってきているように感じます。保育者が側で見守る中で安心して関わるできるようそばで見守っていきたいです。



“担任の思い”

かえるのとのさんは土の中へ、さわがにのサワーズの動きもゆったりし、めばえ組にいる生き物たちは冬支度を始めています。子ども達は保育園生活にも随分と慣れてきて、少しずつ生活の流れも理解してきています。園庭に出る準備を始めると遊んでいた玩具を棚に片づけようとしたり、カゴから自分の帽子を取って被ろうとしたりと“自分でしたい”の気持ちが普段の生活の中でも感じられます。服の着脱や食事時の椅子やエプロンの片付ける様子をじっと見守っていると、できたときの嬉しそうな笑顔や拍手をして喜ぶ姿も増えてきました。自分でやってみたい気持ちを大切にしながら、新しいことにも挑戦できる11月になるよう過ごしていきたいです。

日笠 加菜・西田 汐里菜・小坂橋 円香

～ふたばぐみ～

ねらい：「秋の自然を感じて遊ぶ」「友達一緒に遊ぶ楽しさを知る」

うた：「大きな栗の木の下で」「どんぐりころころ」 わらべうた：「ぜんぜがのんの」「かごかご」

過ごしやすい気候となり、少しずつお散歩にも出掛けています。園の周りを少人数ずつで出発し、交通公園まで頑張って歩き、イチョウの並木や落ち葉をたくさん踏みしめ、秋を感じながらのお散歩となりました。

園庭でもどんぐり探しが盛り上がっています。まだ緑色のどんぐりが多いですが、見つけたどんぐりはぎゅっと握りしめ大切そうに見せに来てくれます。これから増えていく松ぼっくりやどんぐり小さな秋の落とし物を子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思います。

“いってきまーす！”

みんなでスタンプをした布がかわいい鞆に変身し、おままごとコーナーではお買いものごっこやお出かけごっこが始まっています。鞆を身につけて「おかいものいってくるね」と元気に出発し「かってきたよ～」と野菜の玩具がたくさん入った鞆を嬉しそうに見せてくれます。お話が上手になった子ども達の言葉を聞いていると、思わずクスッと笑ってしまう場面もあります。例えば、どこ行くの？と尋ねると「あいす！」と食べたい物を教えてくれたり、「まんだい」「まっくすぱりゅーで、ぱんかうの」とお家の人と一緒に買いものに行ったことを思い出して答えてくれたりしました。お買いものごっこは買うだけでなく、お店屋さんも開店しています。給食でカレーを食べた日には、たくさんのカレー屋さんがオープン。デリバリーで「かれーどうぞ！」と鍋ごと運んでくれました。チーズ入りが欲しいな、とお願いすると追加でお砂味を乗せてくれる追加サービスもありました。お部屋だけでなく、園庭でもお店さんが開店します。木のベンチの上に砂場で使っているカップをたくさん並べ、お金の代わりに葉っぱを渡すアイス屋さんがオープンしていました。

お友だち同士の関わりも増え、「〇〇ちゃんいくよ！」と鞆を身につけた2人で手を繋いでお部屋を回ったり、「〇〇くんどこ？」とはぐれたお友だちを探したり、“一緒に”を楽しんでいます。その中でお友だちにしてあげたい、相手を思いやる優しい気持ちが育っています。



“おおきくなってね”

夏はパプリカやピーマンを沢山収穫し、味わい楽しむことが出来ました。秋から冬にかけて、ふたば組では3色ラディッシュを植えることにしました。種の袋を見ると“なにこれ？”と頭にハテナが浮かんでいる子ども達でしたが、種の袋を見て、話を聞くと「やさい？」

「らでしゅ？」と少しいメージが持てたようです。小さな種をみんなでプランターにパラパラまき、お水もたくさんあげてくれました。芽が出るまでは涼しいところ、芽が出ると日当たりのいい場所がいいそうです。早く芽が出ないかな？とふたば組のお部屋からプランターを見守っています。

“担任の思い”

感染症の流行でお友だちが少なくさみしい日もありましたが、みんな揃った元気な姿を見ることができ一安心しています。暖かい日が続いていた為、急に気温が下がり体調を崩しやすくなりますが、これからも消毒や換気に気をつけて過ごしていきたいと思います。遊びだけでなく、生活面でも出来ることが増えてきました。トレーニングパンツに移行したり、ズボンを自分で履く！と挑戦したり“じぶんでがんばるぞ！”という意欲が湧いています。

まだまだ出来ない事も多く、子どもたちの中で葛藤する気持ちも同時に出てきていますが、“やりたい”の気持ちを大切に受け止め、一つ一つ“できた”の経験を積み重ねていきたいと思っています。

福井真裕子 立田瑛怜菜 松岡桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：『秋を見つける』『友だちと会話しながら一緒に遊ぶ事を楽しむ』

うた：『まつぼっくり』『まっかだな』

友だちと一緒に遊ぶことがぐんと増えてきました。室内でも園庭でも友だちと顔を見合わせると「いっしょにやろう！」「〇〇ちゃん～きて！」など声を掛け合い、自然と笑顔になる姿がたくさん見られます。遊ぶ中での会話もとてもおもしろく、家族でお出かけした場所、昨日食べたものなど自分の経験が毎日のようにままごとに取り入れられています。聞いていて思わず、くすっと笑ってしまう瞬間もたくさんあります。

毎朝つぼみぐみさんのままごと遊びが始まると今日はどんなお話が聞こえるかな・・・と楽しみにしています。

～かぶを植えよう～

夏のひまわり、オクラの栽培を終えさっそく新たな栽培として「かぶ」の種を植えました。春から育てていたオクラとひまわりのお世話も終わり、さみしくなっていた子ども達は、朝から「なにうえるの？」「はやくやりたい！」と待ちきれない様子でした。そして園庭に出ると、石を敷いたり土を入れたり



りと保育者のお手伝いを我先に！という勢いで行ってくれました。その後の種ま

きはみんなで行き、小さな種を丁寧にまいていきました。数日後には小さな芽がたくさん出てにこにこ笑顔の子どもたち。これから子ども達と一緒にお世話をしながら美味しいかぶができることを心待ちにしています。絵本のよ

～秋を先取り！～

10月に入り涼しさが出てきたある日、「せんせいみてみて～！」と駆け寄ってきた男の子の手に握られていた可愛いどんぐり！もう秋だな・・・としみじみしたと同時につぼみ組のどんぐり探しが始まりました。園庭では物足りず、交通公園にも出かけてみんな両手いっぱい拾い集めていました。まだまだ青色の小さなどんぐりですが「どんぐりころころ～♪」と歌を歌いながら嬉しそうに集めていたどんぐりはあっという間にかごいっぱいになりました。歌も毎日歌う中でみんな



歌詞を覚えてお部屋では可愛い振り付けと共に大合唱が見られます。

しかしよく聞くと・・・「どんぐりころころどんぶりこ～」、「おっちゃんいっしょにあそびましょ♪」思わず笑ってしまう間違いもこの時期ならではのですね。これから秋の深まる時期がやってきます。どんな秋が見つかるか楽しみに過ごしていきたいと思います。



“担任の思い”

生活の中でも「自分でやってみる」ことを春から大切に見守ってきました。初めは「できない」「やってよ」だった子ども達が少しずつ「どうやってするの？」「てつだって」に変わり、最近では「じぶんでやる！」と一人で挑戦する姿が多く見られるようになってきました。ついつい手を貸してしまいたくなることもありますが、ぐっところえて子ども達が最後までやり遂げられるよう見守っています。小さな手で一生懸命に服を畳み終えた後の嬉しそうな顔や自分でお皿をピカピカにした満足気な顔に、こちらまで笑顔になってしまいます。これからも「自分でやってみる」の気持ちを大切にしながら様々なことに挑戦し、達成感をもって次の活動へ進んでいって欲しいと思います。

～いぶきぐみ～

ねらい：「友だちとの関わりを楽しみ、相手の思いに気づく」

うた：「いもほりのうた」 「赤鬼と青鬼のタンゴ」 「まっかな秋」

暑い日が続いた10月。その暑さもいつのまにかどこかに消え、子どもたちから「さむいよ～」という声が聞こえてくる日が多くなりました。気がつくとも園庭の木々の葉もだんだん落ち夕暮れも早くなってきました。子どもたちは園庭の秋を感じながら元気に走りまわり、砂場の砂から見つけた小さな貝殻を集め、どんぐりや松ぼっくりなどと一緒にケーキに飾りつけてあそんでいます。

“ さあ、いこう ”



まちに待った、「お弁当の日」。子どもたちに「どこでたべたい？」と、聞くと「お散歩にいてみんなでたべるの」「それ、さいこう」と身体をはずませる子どもたち。その願いがかない、夙川公園に散歩へ行けることになりました。当日は快晴。暑いぐらいの気温でしたがペアのだいちさんと一緒に手をつなぎしっかり歩いて夙川に到着。公園ではいろいろな遊具があり子どもたちは歓声をあげながらあそんでいました。そして、おべんとうの時間ではペアのだいち、ひかりのお友だちと一緒に「いただきます」。



「これ、だいすき」「みて、わたしのおべんとう」など子どもたちは嬉しい気持ちをたくさん教えてくれました。楽しい時間はあっという間にすぎ帰る時間になるともっとあそびたいなという気持ちでいっぱいでしたが「また、ここにこようね」と帰り道で話していました。



“ いぶきがつくったみんなのき ”

「ふしぎなふしぎなまほうのき」という子どもたちが大好きな絵本がありその絵本にでてくる「まほうのき」をみんなでつくることにしました。木の幹や枝は新聞紙を丸めて絵の具を塗り、葉っぱの部分は園庭に落ちている葉を子どもたちと一緒に集め、画用紙にスタンプしてつくりました。葉っぱのすじ（葉脈）が表れると、「うわ！すごい」と驚く子どもたち。「もっとやりたい」「もういっぱい」と何度も



スタンプを楽しんでいました。「いぶきがつくったみんなのき」という名前は「いぶき」と「みんな」という言葉を入れたいという子どもたちの思いからつけました。この木は季節がすすむと不思議なことがおこる木なので子どもたちと一緒にその「ふしぎ」をこれからも楽しんでいきたいと



“ 担任の思い ”

園庭で育てたさつまいもを収穫することになりました。しかしみんなが採れるほどの数がなかったため幼児クラス、はま、かぜに分かれリレーをして決めることになりました。いぶきの子どもたちにとっては初めてのリレー。ドキドキする気持ちでいっぱいの子供たち。自分の番がくるとみんなからの声援を背中に受け、がんばって走っていました。結果はかぜが勝ちましたが、そのあとにいぶきのこどもたちと話しをすると「おもしろかった」「ドキドキした」「負けた人はくやしそうだった」などそれぞれが感じたことを教えてくれました。ひとつの経験から様々な気持ちを感じとることができる子どもたち。これからもいろいろな経験を積み重ねていってほしいと思います。

～ひかりぐみ～

ねらい：「季節の移り変わりに気付き、自然に触れながら遊ぶことを楽しむ」

うた：「赤鬼と青鬼のタンゴ」「まっかな秋」

先月ひかり組で歌っていた「つき」では、それぞれが思い浮かべる月になって身体を揺らしたりくるくると回りながら歌って楽しんでいました。歌詞の意味も知ろうとするようになり、「墨みたいに黒い雲だって。墨って何だろう？」という話になると、「タコがびっくりしたときにふ～って吹くやつだよ！」と教え合う姿も見られました。いろいろなことに興味関心を持っているひかり組。

知りたいこと、やってみたいことを一つひとつ一緒に経験していきます。



“たねがいっぱい”

いま、ひかり組は“種”ブームです。園庭で栽培した野菜や植物を収穫した後、たくさんの種を集めています。アサガオにゴーヤ、ブロッコリーやオシロイバナ、そしてさんじゃくささげという豆も見つけました。ひかり組全員でひとつの植物を知る、というよりはそれぞれが興味のあるものを調べていきます。

「ゴーヤチーム！どんな感じ？」「豆チーム、豆はたくさん集まった？」など声を掛け合う姿も見られ、互いの様子も気になるようです。たくさん集めた種を畚に広げ、数を数えたり、植える時期、収穫の時期を調べたりと子どもたちが不思議に感じた事を一つひとつ一緒に確かめています。秋から冬にかけて植物や野菜がどのように育っていくのか、みんなで力を合わせて育っていく様子を見守っていききたいと思います。



“ももいろのきりん”

だいち組が「エルマーのぼうけん」の本を読みお話の世界を絵に描いたり、積み木で作ったりしている様子を見て「僕たちも、エルマー読みたい！！」と話していたひかり組。だいち組がしていることが気になってきたようです。そこで、ひかり組もお話を楽しむことができるようにと、今まで読んでいた絵本だけでなく、絵を見ずにゆっくりお話を聞く時間を持ち始めました。“ももいろのきりん”という本で、大きいももいろの紙を使って、世界一きれいなきりんをつかった女の子が、きりんと一緒に

冒険に行くお話です。お昼寝の前に、このお話を読み始めると「お話はじまるよ～」と嬉しそうにみんな

集まっています。読み進めていくうちに、主人公のように大きなきりんに乗ってみたい！という想いに繋がり、お話に出てくるように桃色の紙を切ったり貼ったり、クレパスで描いていきながら自分たちが想像するももいろのきりんの“キリカ”を、作りました。自分が作ったキリカを見せ合ったり、思いを話しながら、嬉しそうなひかり組でした。これからどのようにお話が繋がっていくのか楽しみです。



“担任の思い”

今まで一緒に過ごしてきただいち組が、だいち組だけの行事や活動を経験していく様子を一番側で見てきたことで、憧れの気持ちが強くなってきているようです。園庭でルールのある遊びを一緒に考えて遊んでいると、「これはひかりさんが考えたんやで。」と得意気に話す姿もあれば、わからないことをだいち組の子ども達に尋ねる姿も見られます。だいち組になってから、ではなく今、興味のあることを、今深めていくことが出来るよう、子ども達と一緒に考えていきます。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「自分の気持ちを大切に」「伝え方を考える」

うた：「赤鬼と青鬼のタンゴ」「大きな古時計」

“きっとできるだいぼうけんの日”



子ども達のやってみたいこと、ドキドキわくわくする気持ちを大切に子どもと一緒に考えて計画してきた「きっとできるだいぼうけんの日」。

4つのグループに分かれて子ども達だけで話し合い、グループ名や食事の場所、飾りつけを決め当日の準備を進めてきました。この日に向けて子ども達と話しをすると「バーベキューしたいな」「たこやきたべたい」「わんこそばもいいな」と食べ物話がどんどん膨らんでいきました。



前日にマックスバリュまで買い物に行くと「これであしたのごはんできるんだよね」「これはなににつかうんだろう」と当日のごはん予想が大盛り上がり。旗づくりや飾りづくりも進み、完成していくにつれて楽しみな気持ちが大きくなっていったようでした。だいち組 18 人で迎えた当日、開会式から

お昼ご飯、お楽しみゲームにクッキング、パジャマパーティー、足湯にプラネタリウム、バーベキュー…。子ども達のやってみたいことが詰まった盛りだくさんの 1 日になりました。夜のプラネタリウムを楽しみ、いよいよ閉会式…となったときどこからか羽の音が聞こえてきました。音のする方をそっと見てみるとバサッと羽ばたく金色の羽が動いているのが見えました。

「ボリスだ!」と子ども達は大興奮! 急いでテラスを見に行くと“手紙”と“コンパス”と“外国のお金”のプレゼントが置いてありました。手紙には、だいち組のみんながエルマーを探していると聞いて日本にやってきたこと、しばらくみんなの近くにいる予定であることなどが書かれてありました。手紙を何度も読み返し、もらったコインやコンパスを触って、いろんな考えが浮かんできただいちさん。

プレゼントでもらったコンパスが指し示す方に向かってこれからだいち組の冒険が始まろうとしています。早速 10 月 8 日に出かけた夙川公園ではだいち組だけでコンパスを見ながら川をどんどん突き進んでいきました。風が強く吹くと「りゅうがちかくにいるってことだよ!」と盛り上がり、川沿いの石の形がりゅうの足跡に見えたり。見るものすべてがエルマーとりゅうに繋がっているように思えて、色んな発見を楽しんでいます。今後も引き続きコンパスの方角に向かって見つけた不思議をつなぎ合わせていつかエルマーとりゅうに会えますようにとだいち組と一緒に願いながら冒険に出かけていきたいと思います。



“担任の思い”

きっとできるだいぼうけんの日に向けて、少人数のグループで話し合いをするなかで、相手の話を聞くことや相手の意見を受け入れて一つのことを決める難しさを感じている姿が見られました。自分の思いを突き通すだけでなく、みんなが納得できるようにするためにはどうすればいいのか、悩みながら時間をかけて話し合いを進めました。グループで活動が増え何度も伝えあう事でグループでの関係は深まり、普段の遊びの時間にも一緒に過ごす姿が増えていました。11 月はバス遠足や運動発表会などの経験を通して友達との関係を深めて欲しいと思います。

尾崎美緒

～はま・かぜグループ～

～ピカピカだんごをつくりたい！～

園庭ではジョウロに水を入れて地面にまき、何やら泥を作っている子ども達がたくさんいました。何をしているのかそっと覗いてみると小さな手でたくさんの泥を握って泥だんごを作っていました。話を聞くと、白門の所に並んでいるだいち組のピカピカ泥だんごに憧れて作っていたようです。いままで泥を丸めるだけで満足していた子も、友だちが作っている様子を見て、さら砂をかけたりざるで振るってよりさらさらな砂を作っている姿が見られました。「どうしてざるで振るっているの？」と聞くと、「〇〇ちゃん（だいち組）がこうやってん」と教えてくれ、子どもの観察力のすごさに感心しました。出来た泥だんごは白門周りや



外倉庫の籠を指差しながら保育者に「あそこに飾りたい！」と伝えてきます。飾られた自分の泥だんごを満足そうに何度もながめうれしそうです。だいち組への憧れから、子ども達の遊びに繋がっているのだと改めて感じました。



～お弁当おいしいね～

子どもたちが大好きなお弁当の日。大好きな保護者の方が作ったお弁当を持って、みんなで夙川公園へ行きました。いぶき組とだいち組はペアで手を繋いで歩きます。「公園で一緒に食べるの楽しみ」「どんなお弁当が入ってるのかな」と、ペア同士でお弁当を食べる時間をとても楽しみしていました。公園に到着すると、広い公園の中を思いきり走り、ジャングルジムやブランコなどの遊具に夢中になって遊びました。



とても楽しい遊びの時間が終わり、お弁当の時間になりました。だいち組とひかり組の子どもは、持ってきたレジャーシートを敷き、いぶき組の子どもはお兄さんお姉さんのレジャーシートと一緒に座って食べます。「狭くない？大丈夫？」と年下の友達を心配する声や、「入れてくれてありがとう」とお礼をペアのお兄さんやお姉さんに伝えていました。



戸外の気持ちよさを感じながらペアで食べるお弁当は、いつもとは一味違った雰囲気を感じていた子どもたち。「おいしいね！」と大好きなペアと食べながらわらってお話したりとても満足で嬉しい時間でした。

“担任の思い”

学年が上がってから半年が経ち、今の生活に慣れてきたように思います。長い時間同じ部屋で過ごしているうちに、ペアの友達が休みだとわかると悲しそうな様子が見られたり、散歩に行く際にはペアの友達を自ら探したりする姿がありました。また、目的地まで長い道のりを歩きますが、隣に安心できる友達がいる事で最後まで歩く事が出来ました。このような姿から信頼関係が出来てきていることを感じる事が多くなりました。

来月は幼児クラス全員でバス遠足があります。友達と一緒に、いつもと違う場所でお弁当を食べたり、手を繋いで歩いたりする楽しさを味わってほしいです。

小寺 涼香 峰 夏音

～職員からのメッセージ～

気温が一気に低くなり、夏の暑さから秋の涼しさに変化してきましたね。秋と言えば、芸術の秋、食欲の秋、運動の秋などたくさん言葉がありますが、皆さんはなんの秋でしょう？私の秋は「食欲の秋」です。

この時期ならではの果物や穀物が美味しくて、普段もよく食べますが、さらに沢山食べてしまします。今年の秋は初めて「ナガノパープル」というぶどうを食べました。これまで、皮ごと食べられるぶどうはシャインマスカットしか知らなかったのですが、紫色で皮ごと食べられる品種にびっくりしました。気になって調べてみると、他にも皮ごと食べられる品種があるそうです。これまであまり果物の品種を気にすることはなかったのですが、これを機に品種ごとの特徴やおいしさを調べてみようと思います。美味しいおすすめのお食べ物がある方はぜひ教えてください。

ブドウだけでなく、梨・リンゴ・サツマイモ・栗・かぼちゃ…大好きな旬の美味しいものを食べて、寒い気温に負けず子ども達と一緒に心も体も元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

立田瑛怜菜

～お父さんからのメッセージ～

息子が、かえで保育園にお世話になって6年近く過ぎました。

この間、朝ご飯の用意やかえで保育園へ送って行くことが私の日課でしたが成長するに従ってお手伝いのバリエーションも増えてきて助かっている事も有り、本当に成長したなぁ～と思う日々が増えました。

性格が人見知り（恥ずかしがり屋？）が強く園でどんな感じで過ごしているのか興味があり保育参加にて園での素の姿を見れた事や、他の園児と一緒に遊ぶことができ本当に貴重な時間を共有できたと思っています。あと餅つき・流しそうめん等、色々な行事にも参加してきましたが今回コロナの影響で当たり前に参加出来なくなり、夫婦共々残念な気持ちでいっぱいですが感染対策など数々の制約がある中で園児を第一に思い接してくれている先生のみなさんには本当に感謝の気持ちしかありません。

私事ですが、今年の3月に父親（息子から見て、おじいちゃん）を亡くしました。直後より半年以上過ぎた現在の方が喪失感を強く感じています。私も40歳を過ぎて父親となり親と子の関係性について深く考える時間が出来ましたが、私は父親の何を知っていたのかと思うことも有りますし又、その逆も有ります。そして子供の頃に父親と過ごした日々の断片的な映像を時々思い出しては懐かしさと、その時に感じた温もりを思い出したりします。

息子も残り約5ヶ月で、かえで保育園を卒園して新しい世界に一步飛び出しますが成長するにつれて自分の思いが叶わない事に悩むなど、壁にぶつかる事も有ると思いますが、今まで先生たち多くの人の愛情に包まれて育って来たことに自信を持ち勇気を持って夢や理想に向かって行って欲しいと思います。

保護者の方からのお話コーナー

毎日たくさんの絵を持って帰って見せてくれます。
色使いを工夫してみたり、イメージを膨らませて
楽しい絵を沢山描いて持ち帰り、家ではパパと
ママに説明してくれます。

保育園で歌っている歌も元気に歌ってくれます。
♪きっとできる♪をノリノリで歌ってくれるので、
いつもこんな風に保育園で楽しく過ごして
いるんだろうなと思いながら私も一緒に
手拍子やジャンプをしています。

いぶき組 ゆうこさん

毎日保育園に行くのが楽しいみたいです。
先生や上のお兄ちゃんお姉ちゃんに遊んでもらえて
すごく楽しそうです。

めばえ組 ゆうきさん

つぼみ組になり、だいぶおしゃべりが出来る
ようになってきました。お友達や園での出来事は
まだあまりお話してくれませんが、朝の登園時は
「〇〇ちゃん、〇〇ちゃんいるかなあ〜」と
会えるのを楽しみにしているようです。
写真を見るといつも仲良く遊んでいるようで
安心しています。

つぼみ組 みゆきさん

つぼみ組になったとたん、「もうお姉ちゃんに
なったから！」と自分でしたい気持ちや、
誰かのお世話をする心が芽生えています。
お兄ちゃんはこの一年本当にたくましく
なりました。

今までは「ママと一緒に…」でしたが、
今では「ここで待ってて！僕がやってくる
から！」に変わりました。

行事が縮小されて園の中のこと、わからない
ことも多いですが、細かくお話してくれて
嬉しいです。

つぼみ・だいち組 あやかさん

なんでもお兄ちゃんの真似をしたがる弟くん。
車や恐竜が好きなのもお兄ちゃんの影響を
受けています。

保育園でもよくお兄ちゃんの後ろを追いかけて
遊んでいるようです。

お兄ちゃんのクラスのお友達もよくお世話をし
てくれるようでご満悦みたいです。

ふたば組 みきさん

☆お台所より☆

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配を感じるようになりました。

日が沈むのも早くなりましたね。

これからの季節は、温かい料理や冬野菜が美味しい時期になってきます。

11月の献立にも、旬の食材や野菜をたくさん取り入れ、子どもたちの身も心も温まるごはんを作っていきます。

～こんなことがあったよ～

10月8日は『お弁当の日』でした。みんなおいしそうなお弁当で、見ているこっち側までもが食べたくなるものばかりでした。そして、その日のおやつに、最近世間で流行っているイタリアのおやつ

「マリトッツォ」を出しました。市販のものは、ロールパンに生クリームを絞るのが定番ですが、

かえて保育園ではクリームチーズとヨーグルト、砂糖を混ぜたものをパンに挟みました。そして子どもたちの好きなみかんを飾って出来上がりです。

思っていた以上に好評で、クリームだけを食べている子もいれば、真っ先にみかんを食べている子もいました。いつもとは違うおやつでしたが、たくさん食べてくれてとても嬉しく思いました。



10月15日に初メニューの『肉みそ納豆丼』をお昼ごはんに出しました。

かえて保育園の子どもたちは納豆好きの子が多く、今まで、「ゆかり納豆」や

「ひじき納豆」などを出してきました。いつもの納豆だと、納豆嫌いな子にとっては食べるのに時間がかかっている様子でしたが、今回はおかわりをする子も多く、

たくさん食べてくれました。納豆は火を通すことで納豆独特の香りが弱まり、においを気にせず

食べやすくなります。納豆には、5大栄養素である、たんぱく質・脂質・炭水化物・ビタミン・

ミネラル・食物繊維が全て含まれています。また米みそは骨を強くする働きもあり、納豆と米みそを

使った肉みそ納豆丼は、成長期のお子様にとぴったりの一品になること間違いなしです。

ぜひご家庭でもぜひ作ってみてください。



「肉みそ納豆丼」 ～幼児2人分～

〈材料〉		〈作り方〉
豚ひき肉	40g	①たまねぎ、にんじんはみじん切りにする。
ひきわり納豆	30g	②しめじは1/2～1/3程度に切る。
たまねぎ	半分	③鍋に油をひき、豚ひき肉・たまねぎ・にんじん・しめじ
しめじ	10g	を炒める。
にんじん	中サイズ半分	④火が通ったら調味料を加え、炒める。
砂糖	小さじ1	⑤ひきわり納豆を最後に入れて炒める。
米みそ	小さじ1/2	⑥丼にごはんを盛り、作った具材をのせて出来上がり。
醤油	小さじ1/3	
みりん	少々	☆お好みでこねぎを加えると見た目もよくなり
酒	小さじ1/2	さらにおいしくなりますよ！

11月の献立 旬の食材

さつまいも れんこん はくさい さといも ごぼう 栗 みかん 柿

栄養士 廣田 恵 坂口 未奈美



- ・11月8日（月）より登降園時に保護者の方に入室していただきます。（状況により中止も有）

<登園時>

- ①インターホンを押す ②アルコール消毒
- ③ICTカードを押す
- ④健康調査票を渡す

（玄関にいる職員にお渡しください）

お子様の手洗い（1階子どもトイレ）後

めばえ・ふたば・つぼみ組：ふたば部屋前

幼児：にこにこ広場

つぼみ組は 8:30 以降はつぼみ部屋前まで

お連れ下さい

<降園時>

- ①インターホンを押す ②アルコール消毒
- ③ICTカードを押す

めばえ・ふたば組：ふたば部屋前

つぼみ・幼児：にこにこ広場

※降園時の申し送りは、密を避けるため
短時間で行います。ご了承ください。

こんなことしたよ♪

10月20日にお芋ほりを行いました。

春にひかり・だいち組がペアで植えたものが
大きくなり、いぶき組を含め幼児みんなで
さつまいも掘りを楽しみました。丸い形の物、
細長い物、5つ程繋がった物など様々な形が
見られて「ラプンツェル」や「ニンニク」など
名前を付けている子もいました。

さつまいも掘りの後にだいち組はひとつひとつ
重さを量り一番重たいチャンピオンを決めたり、
みんなの投票でだいち賞決めたりしました。



☆お願い☆

- ・緊急事態宣言が明けましたが、園児だけでなく、ご家族の皆様の発熱は
もちろんのこと鼻水・咳やいつもと違う場合
は必ず受診し病院の指示を受けて下さい。
また、少しでも風邪の症状がある場合は
病院受診がないと保育を受けることが
できません。
体調不良で急遽、コロナに関するPCR・
抗原検査などを受ける場合は必ず検査の前に
お迎えにお越しください。

- ・登園後の体調の変化で連絡する場合があります。保護者の方の仕事がお休みの場合は
家庭保育をまた休暇・自宅での仕事の場合は
必ずお知らせください。

・お子さまの予防接種は登園前ではなく、
登園後またはお休みの日の接種をお願いします。

11月の予定

感染症の状況で変更・中止する場合があります

*3日（水・祝） かえて保育園記念の集い

★みなさまご参加ください

*12日（金）子どもだけの運動はっぴょう会

★10月からの様子を含め、後日動画で
お渡しします。

*16日（火）子育て支援講座
～カウンセリング～

*19日（金）お弁当日

★0～2歳お弁当

幼児はバス遠足に出かけます。おにぎりのみを
用意をお願いします。後日お手紙を配布します。

*24日（水）移動動物園

*25日（木）誕生日会・月例健診

*26日（金）だいち園外

*4・11・18・25日 体操

*10・30日 絵画